

課題概要説明シート

令和3年度 CO-CREATION KOBE Project【課題⑤】

課題名	農村資源を活用した農村ツーリズムやいちご狩り、いもほり、とうもろこし狩りなどの観光農園の情報発信と活性化。 里山・農村地域に興味をもって来訪されている方と、農村資源とのマッチングによる里山・農村地域の活性化	
担当部署	経済観光局農水産課	
課題を抱える事業の概要	<p>①いちご狩り、いもほり、とうもろこし狩りなどの観光農園は、年間5万人を超える来園者があるが、近年は、来園者は横ばい傾向にあり、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあってやや減少傾向にある。</p> <p>②観光農園の園主は高齢化しており、後継者も少ないが、一方でいちご狩りなどでは、新規就農者の参入もある。</p> <p>③PRについては、メディアへの記事掲出やチラシの配布、ホームページでの案内などを行っているが、紙媒体を主とするPRが多い。</p>	
解決したい課題の概要	新鮮な農産物を求めて、市内の農産物直売所や地元農産物を使った飲食店などを訪れている方は増える傾向にあるが、周辺の観光農園など農村資源を活用した取り組みの認知度は高いとは言えない。観光農園などのPR方法はホームページや紙媒体が中心となっており、積極的に情報を得ようとする人でないとこれらの情報は伝わりにくく、利用者の増加につがっていない。	
これまでに実施したことがある施策等		
市が希望する提案の例	例えば、道の駅では、市内外から多くの来場者があり、農産物直売所や地元農産物を使った飲食店などを楽しんでいる。このような方々に、周辺の観光農園など農村資源を活用した農村ツーリズムの取り組みを周知するための情報発信を行うとともに、観光農園と連携したPRイベントを継続的に実施する。	
事業実施にあたっての留意点等	道の駅などの集客施設での情報発信の手法として、デジタルサイネージなどのデジタルメディアを活用して里山・農村地域の四季折々の情報を動画などを用いてリアルタイムに近い形で情報提供を行うことで、観光農園へ誘客するなど、里山・農村地域の活性化につながる取り組みを行っていただきたい。また、集客施設での観光農園のPRイベントを継続的に実施いただきたい。	
参考情報 (関連ホームページや市の計画等)	名称	URL
	神戸市観光園芸協会	http://www.kobe-kanko-engei.jp/